

災害から町民の命を守るために

近年、全国各地で集中豪雨や台風などにより大きな被害をもたらす自然災害が発生し、従来の想定をはるかに超える規模の災害が発生しています。令和元年東日本台風（台風第19号）では、川島町でも浸水被害が発生したほか、対岸の川越市や東松山市では、都幾川や越辺川の堤防決壊により甚大な被害を受けました。

町では、地域防災計画に基づき、関係機関と連携し、様々な防災対策を進めております。大規模な災害発生時に町民の皆様様の命や財産を守るためには、町はもとより、町民・地域・関係機関が一体となって取り組む必要があります。

このたび、大規模な水害や地震が発生した場合の被害想定や避難の重要性を認識していただくため、「川島町 洪水・地震ハザードマップ・ガイドブック」を作成しました。町民の皆様一人ひとりが身近にある危険を知り、その対策を家庭、地域で事前に考え備えていくことが大切です。普段から災害時にどうするか、どのように行動するかなど自らの防災活動に本冊子を活用していただければ幸いです。

令和3年(2021年)3月吉日



川島町長 飯島 和夫

はじめに

ハザードマップは、地震・台風・集中豪雨などの自然災害の危険性を伝え・知るための地図のことです。町や町民のみなさんが想定される災害に取り組むための基礎情報となります。

防災ガイドブックは、災害の危険を予測したハザードマップに基づき、日頃の備えや避難行動・避難場所など、被害の回避・軽減の対応方法を示したものです。

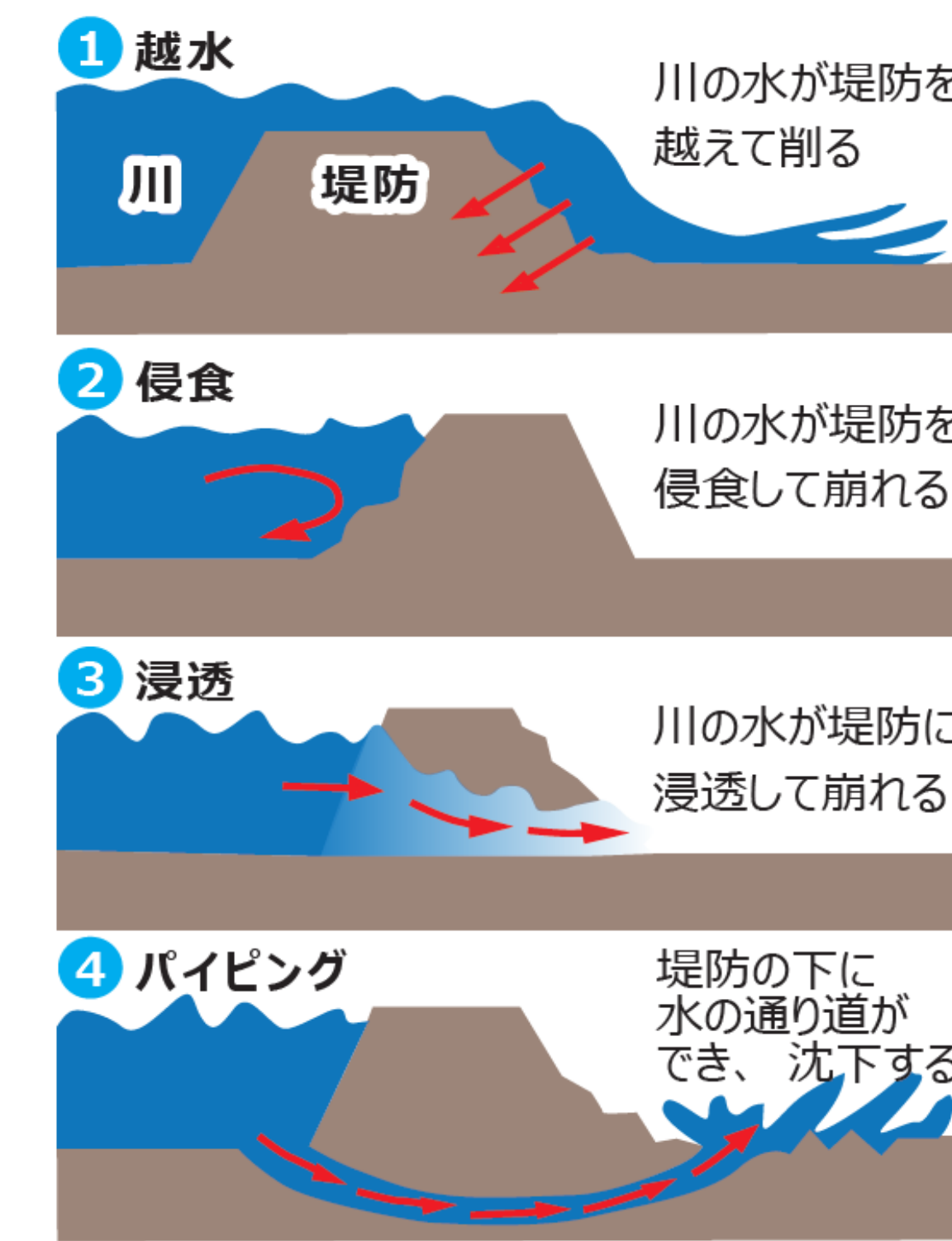
洪水について

私たちが暮らす川島町は、荒川をはじめ都幾川、越辺川、入間川及び市野川など四方を川に囲まれ、平坦な地形をした町です。そのため、過去には台風や豪雨により、家屋の浸水や田畑の冠水等の洪水被害を受けてきた経緯があります。

近年では、全国各地で短時間に100mmを超過する降雨がたびたび発生し、これによる洪水被害も多発しています。令和元年東日本台風（台風第19号）により、各河川の上流では500mmを超える大雨が降り、その影響で本町においても住家の床上・床下浸水、一部損壊、業務施設や店舗での浸水等の被害が発生し、町民の約3,000人が町内の避難所へ避難しました。

これらは、地球温暖化による気候変動に起因しているといわれています。また、荒川が決壊・氾濫した場合、国のシミュレーション（荒川上流河川事務所浸水想定区域図）によると、本町の全域が浸水（3m～10m未満）すると想定されています。このような状況を踏まえ、町の大規模な洪水に対する取り組みは、重要かつ喫緊の課題で、町はもとより町民・地域・関係機関が一体となって取り組む必要があります。

堤防決壊の4つのパターン



2019年10月14日 台風第19号における荒川の状況
(写真提供：国土交通省 荒川上流河川事務所)



●これまでの主な水害

発生年月	風水害名	川島町の被害状況
明治43年(1910年)8月	-	堤防総越水、小見野村地内に数ヶ所の決壊、川島領全領泥海と化す
昭和22年(1947年)9月	カスリーン台風	釘無40m破堤、曲師40m破堤、浸水831戸、田畑78町歩
令和元年(2019年)10月	令和元年東日本(台風第19号)	正直、戸守、上猪地区 住家床上浸水3件、住家床下浸水7件、水害農地面積41,297㎡

地震について

本町に大きな被害をもたらした主な地震として、関東大震災、西埼玉地震、東日本大震災があげられます。特徴として、他市町村に比べ人口規模と比較すると、被害を受ける割合が高くなっています。これは、川によってつくられた地盤の弱い土地で、地震時には揺れやすく液状化を起こしやすいことが要因の一つと考えられています。

今後、本町に大きな被害をもたらす想定地震として、関東平野北西縁断層帯地震があげられています。この地震の発生確率は低いですが、発生時の被害は甚大とされることから、日頃から減災に向けた取り組みを進める必要があります。

●これまでの主な地震

発生年月	地震名・規模	川島町の被害状況
大正12年(1923年)9月	関東大震災 規模M7.9、震源地：相模湾	全壊359戸、半壊353戸、死傷者8名
昭和6年(1931年)9月	西埼玉地震 規模M6.9、震源地：深谷市	全壊2戸、半壊2戸、破損401戸、死傷者1名
平成23年(2011年)3月	東日本大震災 規模M9.0、震源地：三陸沖	住家の屋根瓦の一部破損408棟、その他63件（ブロック塀の倒壊、物置外壁の亀裂及び剥離等）鳥羽井沼の駐車場の一部で液状化、護岸の一部崩落



2016年4月 熊本地震による益城町寺迫地区の被災状況
(写真提供：熊本県益城町役場)

川島町 洪水・地震 ハザードマップ・ガイドブック もくじ

はじめに	3		
洪水		地震	
■ 荒川が決壊したらどうなる	4	■ 川島町の地震想定	32
■ 荒川及び入間川流域の氾濫浸水は長期化	5	■ 震度マップ	33
■ 荒川以外の河川が氾濫したら	6	■ 液状化危険度マップ	34
■ 家屋の倒壊は	7	■ 建物倒壊危険度マップ	35
■ 洪水のおそれがあるときは町外への避難を	8	■ 地震防災マップ	36
■ いつ逃げる？避難情報は？	9	■ 地震が発生したときの避難行動	38
■ 洪水時の町外と町内の避難先	10	■ 地震への備え	39
■ 洪水ハザードマップ	12		
■ 各地区の洪水ハザードマップ		■ 主な防災関係機関等一覧	40
中山地区	14		
伊草地区	16		
三保谷地区	18		
出丸地区	20		
八ッ保地区	22		
小見野地区	24		
■ 内水氾濫への備え	26		
■ 情報を入手しよう	27		
■ 避難のため日頃から備えましょう	28		
■ 避難のための持ち出し品	29		
■ 「マイ・タイムライン」を作ってみよう!!	30		
■ 避難所における感染症対策	31		